

2024年5月31日 全7頁

Indicators Update

2024年4月鉱工業生産

一部業種で前月からの反動減が表れ生産指数は2カ月ぶりの低下

経済調査部 研究員 石川 清香

[要約]

- 2024年4月の生産指数は前月比▲0.1%と2カ月ぶりに減少した。輸送機械工業（除自動車工業）で前月からの反動減が表れたほか、自動車工業は一部車種の生産停止の影響で減産に転じた。その他の業種では、シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復を背景に半導体製造装置で増産が見られた生産用機械工業の指数が上昇した。経済産業省は基調判断を「一進一退ながら弱含み」に据え置いた。
- 先行きの生産指数は緩やかに上昇するとみている。国内の自動車の生産体制がおおむね正常化したことから、受注残を解消するための挽回生産が見込まれる。また、半導体関連財の生産は引き続き増加するとみている。ただし、輸出管理規制の強化によって、中国での半導体関連財の販売額が落ち込み、日本の生産指数を下押しするリスクには注意が必要だ。
- 2024年6月7日に公表予定の4月分の景気動向指数は先行CIが前月差▲1.0ptの111.2、一致CIが同+0.9ptの114.5と予想する。予測値に基づく、4月の基調判断は機械的に「下方への局面変化」に据え置かれる。

図表1：鉱工業指数の概況（季節調整済み前月比、%）

	2023年				2024年				4月	5月	6月
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
鉱工業生産	+0.1	+1.2	▲0.6	+1.2	▲6.7	▲0.6	+4.4	▲0.1			
コンセンサス								+1.5			
DIR予想								+1.5			
生産予測調査									+6.9	▲5.6	
補正值(最頻値)									+2.3		
出荷	+0.6	+0.3	▲0.8	+1.6	▲7.5	▲0.7	+4.7	+0.2			
在庫	▲0.9	+0.0	+0.0	▲0.9	▲1.7	+0.6	+1.0	▲0.5			
在庫率	▲1.2	▲0.2	+1.5	▲2.3	+2.6	▲5.6	+7.6	▲1.1			

(注) コンセンサスはBloomberg。

(出所) Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

【生産】一部車種の生産停止の影響で自動車工業は減産に転じる

2024年4月の生産指数は前月比▲0.1%と、コンセンサス（同+1.5%、Bloomberg 調査）に反して2カ月ぶりに減少した。経済産業省は基調判断を「一進一退ながら弱含み」に据え置いた。

生産指数を業種別に見ると、15業種中7業種が前月から低下した。輸送機械工業（除、自動車工業）（前月比▲13.4%）が、前月の大幅増（同+21.6%）の反動で減少し、全体を下押しした。また、汎用・業務用機械工業（同▲3.2%）では一般用蒸気タービンなどが、電気・情報通信機械工業（同▲2.4%）ではレーダ装置などが減産となった。自動車工業（同▲0.6%）は、3月には工場稼働再開の影響で大幅に上昇（同+9.9%）していたものの、5月は低下に転じた。品目別に見ると、軽乗用車（同+5.0%）や小型乗用車（同+20.5%）は工場稼働再開で増産となった一方、ウエイトの大きい普通乗用車（同▲5.0%）が減産となった。普通乗用車の減産は、トヨタ自動車部品の不具合を理由に一部車種を生産を停止したことが影響したほか、ダイハツ工業においても認証不正問題の影響で一部車種を生産停止が継続していたことが背景にある。

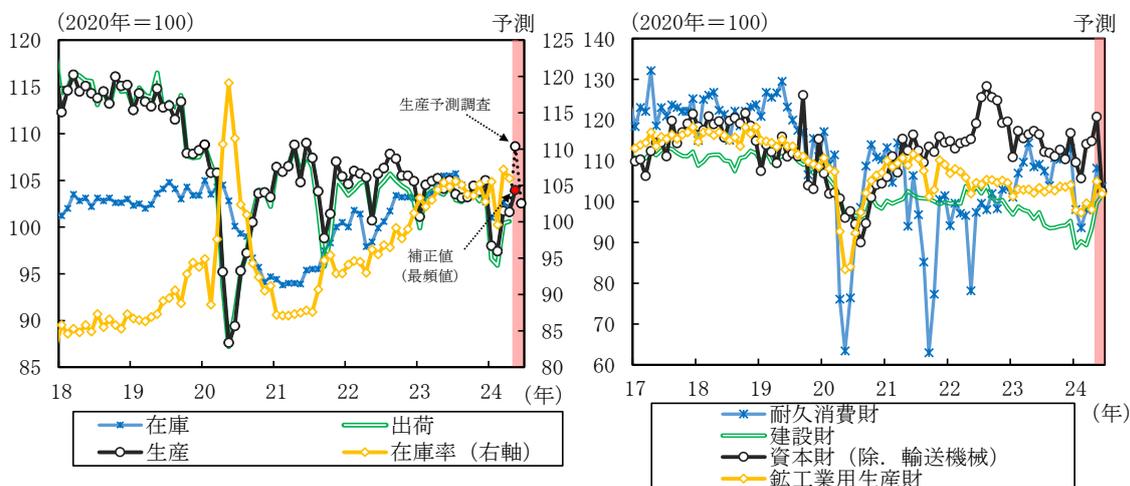
他方で、生産用機械工業（前月比+4.1%）は増産となった。シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復を背景に半導体製造装置（同+36.1%）が大幅に増産し、現行基準で遡れる2018年1月以降で過去最高水準となった。その他の半導体関連品目では、モス型IC（メモリ）も同+19.5%と大幅に増産した。

財別では、生産財（前月比▲1.2%）と非耐久消費財（同▲0.2%）が低下した一方で、建設財（同+4.5%）、耐久消費財（同+1.0%）、資本財（除、輸送機械）（同+0.6%）は上昇した。

【出荷・在庫】出荷指数は2カ月連続で上昇

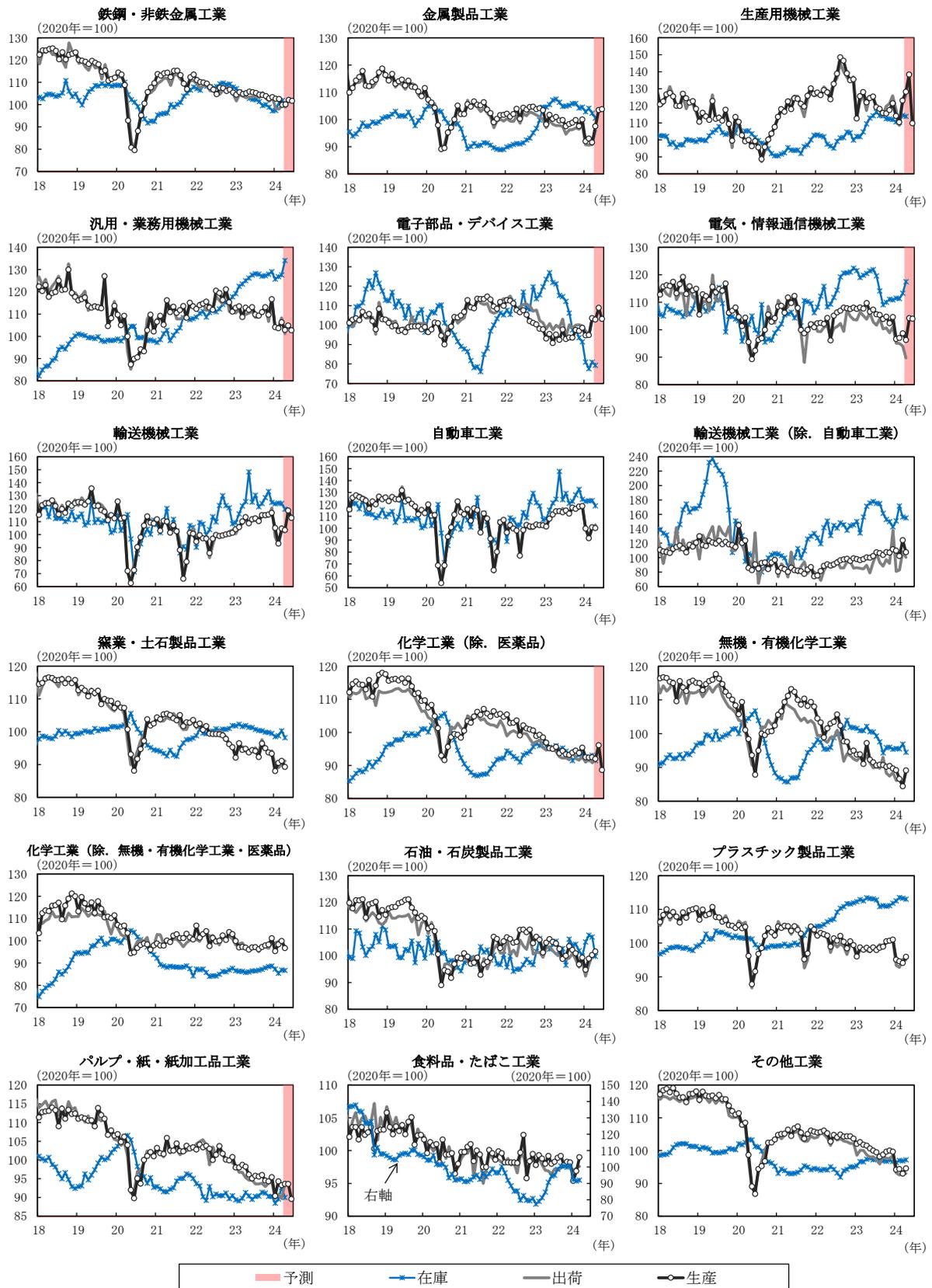
4月の出荷指数は前月比+0.2%と2カ月連続で上昇した。業種別では、自動車工業など15業種中7業種が上昇した。財別では、建設財と耐久消費財が上昇した一方で、生産財や非耐久消費財、設備投資動向を示す資本財（除、輸送機械）は低下した。在庫指数は同▲0.5%、在庫率指数は同▲1.1%となった。

図表2：鉱工業の生産・出荷・在庫（左）と財別の生産（右）



(注) 生産指数の予測値（赤色）は、製造工業生産予測指数の補正值。その他シャドー部分の値は、製造工業生産予測調査による。
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業(除. 医薬品)の予測数値は、化学工業全体の予測数値を使用。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

【先行き】自動車の挽回生産などもあって生産指数は緩やかに上昇

先行きの生産指数は、受注残を解消するための自動車の挽回生産などをあって緩やかに上昇するとみている。また、シリコンサイクルの回復局面入りで、半導体関連財の生産も増加するだろう。ただし、輸出管理規制の強化によって、中国での半導体関連財の販売額が落ち込み、日本の生産指数を下押しするリスクには注意が必要だ。

ダイハツ工業は、認証不正問題を受けて一部工場の稼働を停止していたが、5月7日より国内全工場の稼働を再開した。生産体制はおおむね正常化しており、今後は受注残を解消するための挽回生産が生産指数を押し上げるだろう。7月17日に2車種の生産再開が予定されており、これをもってすべての現行車種の生産が再開することとなる。他方で、トヨタ自動車では、部品の不具合などを理由に4月4日より一部車種について生産を停止している。6月17日の生産再開が予定されているが、当面は生産指数の下押し要因となるだろう。

製造工業生産予測調査によると、2024年5月の生産指数は前月比+6.9%（生産指数全体の計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同+2.3%）と見込まれている。業種別では11業種中9業種が上昇する見込みだ。輸送機械工業（同+14.5%）では生産体制の正常化の進展を背景に自動車の挽回生産が押し上げ要因となろう。生産用機械工業（同+7.9%）や電気・情報通信機械工業（同+8.2%）などでも増産が見込まれている。

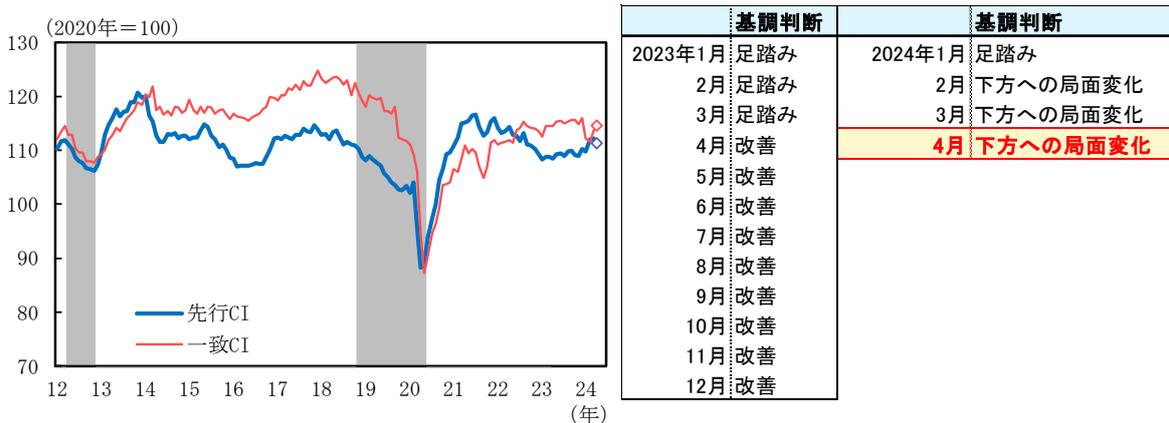
他方、6月の生産は前月比▲5.6%となる見込みだ。業種別では、11業種中10業種が低下するとみられている。生産用機械工業（同▲20.7%）のほか、輸送機械工業（同▲4.8%）などで減産が見込まれている。

【4月景気動向指数】先行CIは低下、一致CIは上昇の見込み

鉱工業指数の結果を受け、2024年6月7日に公表予定の4月分の景気動向指数は先行CIが前月差▲1.0ptの111.2、一致CIが同+0.9ptの114.5と予想する（図表4）。先行CIでは構成指標のうち、新規求人数（除学卒）や消費者態度指数、マネースtock（M2）、などが悪化した。また一致CIでは構成指標のうち、商業販売額（卸売業）や耐久消費財出荷指数、投資財出荷指数（除輸送機械）、などが改善した。この予測値に基づくと、4月の基調判断は機械的に「下方への局面変化」に据え置かれる。

先行きの経済活動は緩やかな回復基調を辿るだろう。2024年1-3月期の実質GDP（1次速報）は、一部自動車メーカーの大幅減産などの影響で、前期比年率▲2.0%となった¹。先行きは、生産体制の正常化を背景とした自動車の挽回生産が、個人消費や輸出、設備投資の増加要因となる。また、シリコンサイクルの回復で半導体関連財の輸出や生産が増加するだろう。さらに、春闘賃上げ率の大幅な引き上げや定額減税が家計の所得環境を改善させ、個人消費の回復を後押しすると見込んでいる。

図表4：景気動向指数（先行CI、一致CI）と基調判断の推移



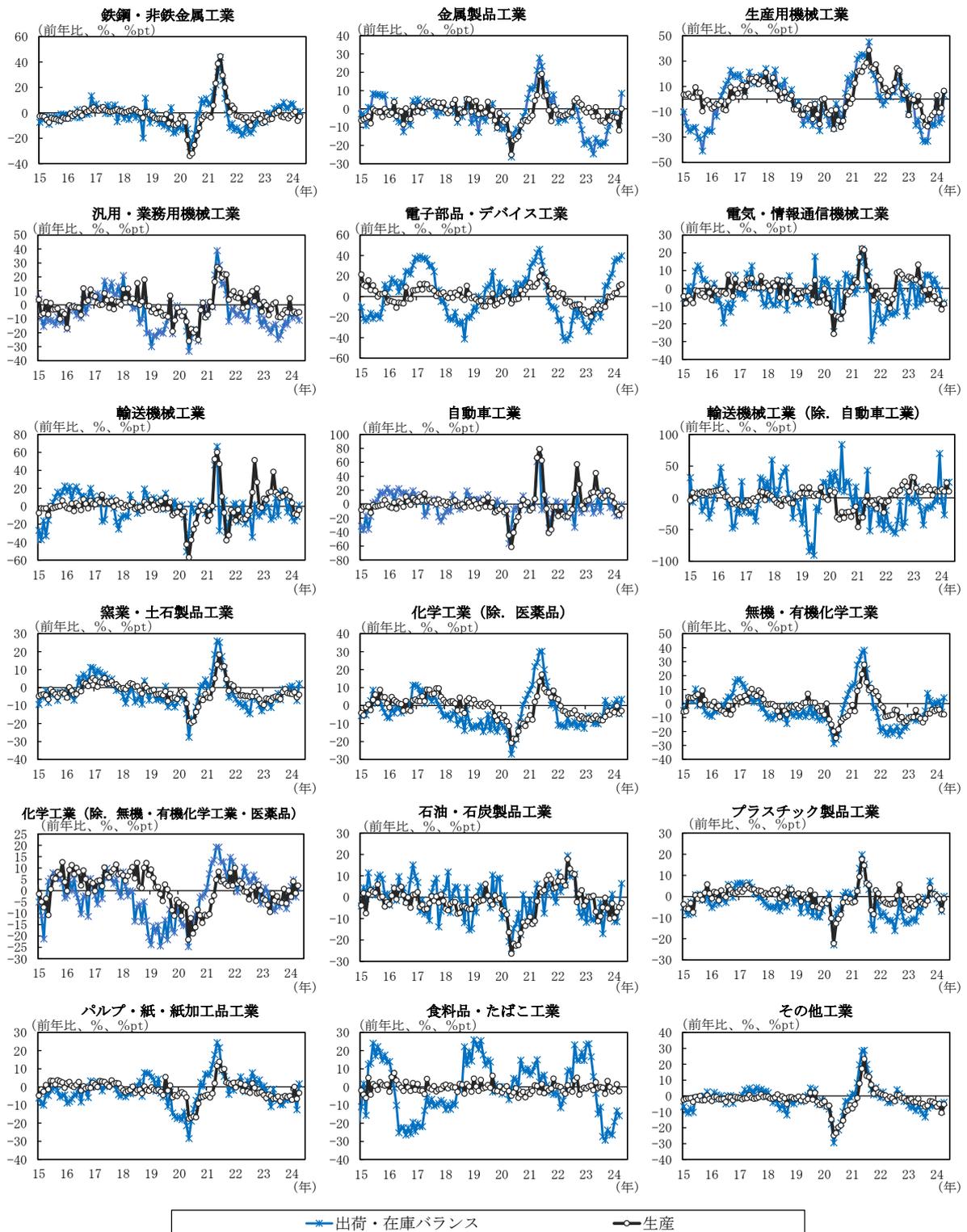
（注）左図の直近は大和総研による予測値。シャドローは景気後退期。

右図の2023年4月以前の基調判断は2015年基準による。2024年4月は大和総研予想。

（出所）内閣府統計より大和総研作成

¹ 詳細は、神田慶司・久後翔太郎・田村統久・岸川和馬・中村華奈子「[日本経済見通し：2024年5月](#)」（2024年5月23日、大和総研レポート）を参照。

業種別 出荷・在庫バランスと生産



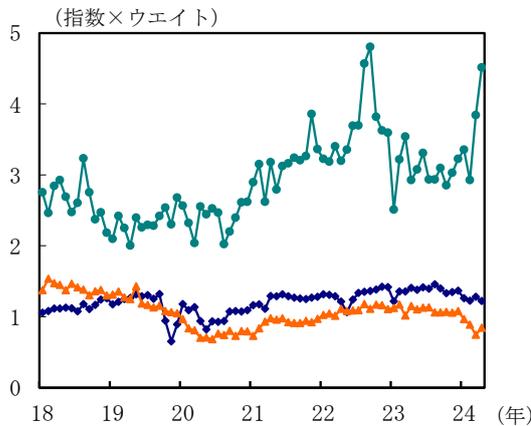
(注1) 出荷・在庫バランス=出荷前年比-在庫前年比。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

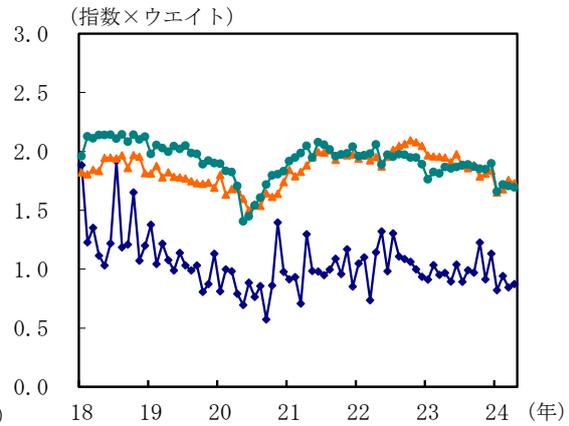
主要産業の生産動向(季節調整値)

生産用機械



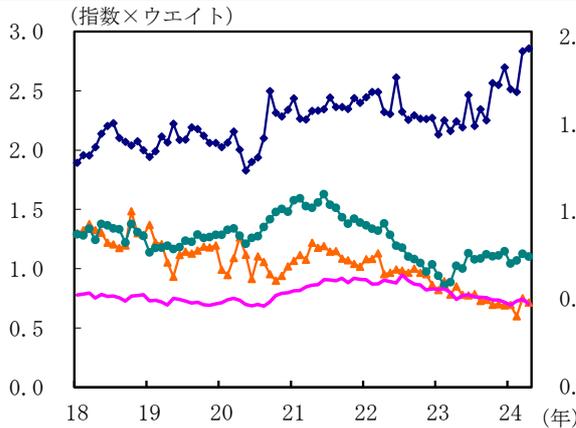
- 建設・鉱山機械
- 金属加工機械
- 半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置

汎用・業務用機械



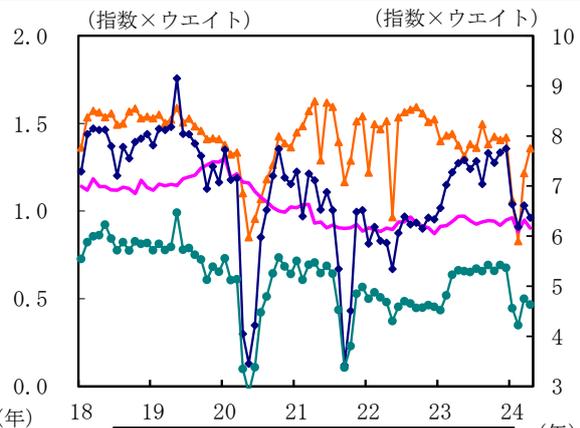
- ボイラ・原動機
- ポンプ・圧縮機器
- 汎用機械器具部品

電子部品・デバイス



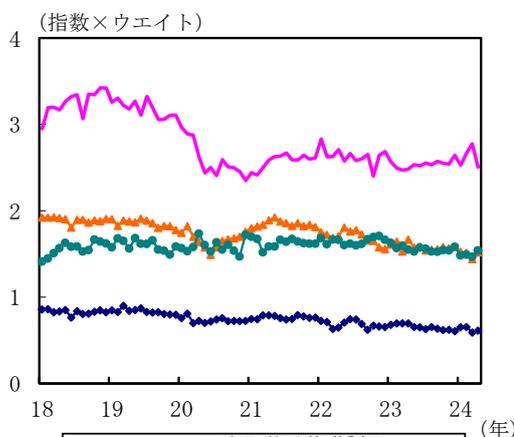
- 集積回路 (IC)
- 電子デバイス
- 電子部品
- 電子回路

輸送機械



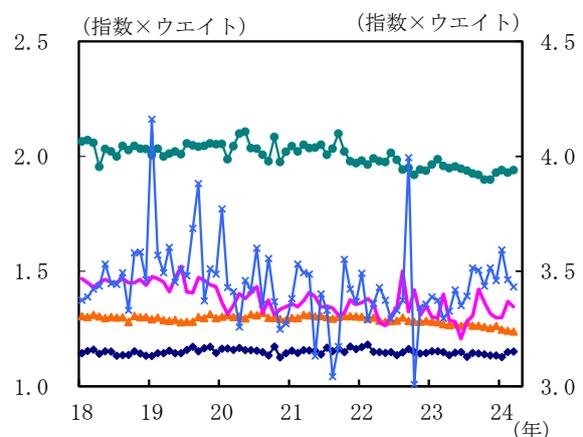
- トラック
- 船舶・同機関
- 乗用車 (右軸)
- 車体・自動車部品 (右軸)

化学



- 石油化学系基礎製品
- プラスチック
- 洗剤・界面活性剤
- 化粧品

食品・たばこ工業



- 肉加工品
- 乳製品
- パン・菓子
- 清涼飲料
- 酒類 (右軸)

(注) 食品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。
 (出所) 経済産業省統計より大和総研作成